

# ちえのわ不動産だより

第53号 2020年1月

発行(株)ちえのわ不動産  
岡山市中区中納言町3番22号 売

TEL:086-206-2836 FAX:086-206-2837

## ちえのわ不動産とは

ちえのわ不動産はライフスタイル提案型の不動産と建築設計の事務所です。「私たちの考える暮らし」に少しでも共感していただける方、ぜひうちに来て物件を探したりリノベーションや新築の設計相談をしたりしてみませんか。

### 「私たちの考える暮らし」

- ・できるだけ街中の便利な場所に住む
- ・小さな家でミニマルに暮らす
- ・自分の住みは自分で考えてやる
- ・食べ物に気をつかう
- ・家庭菜園を楽む
- ・石けんを使う
- ・木のおもちゃで子育て
- ・循環型の生活を目標とする
- ・安全な場所、危険な場所を知る

適切な家のメンテナンス経験が無いと、ホロホロになるまで家に手を入れないまま住み続ける人が多い点、などが考えられます。

もう人口減で家余りになっている時代に、いつまでも新築を建て続ける訳にはいきませんが、これらの理由で中古住宅を探すのが難しいのも現実の話です。弊社で新築やリノベーションを提案するときは、お客様の予算が許す限り、古くなく、味が出てくる無垢フローリングやパイン造作建具を提案しています。一緒にどんな選択が一番いいのか考えましょう。

弊社ではサイトの記述において「中古」という言葉に含まれるネガティブな先入観を避けるため、「ア建て」と表現するようにしています。

あけましておめでとうございます  
2020年もよろしくお祈りします



## 「中古住宅」といってしまふ日本の新築志向

英語圏をはじめとする外国では、新築を建てる人は少なく不動産を購入するときは中古住宅を選ぶのが普通だそうです。新築のときよりも中古のときの価格が高いのが当たり前だから、だから英語圏では「家を買う＝中古住宅」を言うという意味なので、日本ではあえて「中古住宅」と表現しているのが奇妙に感じると外国人に教えてもらったことがあります。私も含めて日本ではあえて「中古住宅」と呼んで「新築住宅」に誘導する傾向が私も含めてあったかもしれないと、反省しています。

「中古住宅」に魅力が欠けない原因を考えてみました。日本では高度経済成長期、ずっと住宅不足だったので家を建てるのが至上命題でした。それで経済が活性化した面もあつたのですが、とにかつ軒数を建てなきゃいけないので、質の量の粗悪な作りで住宅が増え、中古住宅になると見劣りする点、日本では建売や分譲マンションが多く、間取りや内装も画一的な雰囲気である点、ハウスメーカー等の出現で住宅が商品となり消費を促すために流行を作るため、時代が変わると、すぐ陳腐化したように見える点、日本に住む人の多くが、



## イオンモールや老人ホームでピアノ親子連弾

ピアノ教室の音楽演奏ユニットの一員として9月からイオンモールや老人ホームのイベントに出かけて息子と一緒に親子連弾をしています。最初だけ天空の城ラピュタの主題歌「君をのせて」を弾きましたが、最近では「崖の上のポニョ」と「アヒルと鴨のマーチ」を弾いています。そして「アナと雪の女王」の「Let it go」を現社練習しています。息子は楽譜を読むのが嫌いなので全部暗譜。私は楽譜が無いと弾けないのに!! ステージで弾くときは息子の方が堂々としていて、私の方が大緊張。いつも息子に励まされています(笑)。



## グランドカバーが広がりました

弊社の事務所がある中納言町コーポラティブハウスの土の部分は長年雑草に悩まされ続けてきました。毎年、春から夏にかけて雑草がすく、刈っても刈ってもまた生えての繰り返し。2年前にグランドカバーのダイコンドウの種をまいたのですが、今秋になり、ようやく広がりはじめ、緑の(ゆ)たんのようになりまして。それでも、ある程度は雑草が生えると思うのですが、少しはマシになり、谷さんあて期待しています。



不動産や建築に関するご相談お待ちしております。



(株)ちえのわ不動産 一級建築士事務所 ちえのわ工房

岡山市中区中納言町3番22号 売

https://www.cienowa.com

info@cienowa.com

TEL:086-206-2836

FAX:086-206-2837

定休日:不定休

来店時はご連絡ください

